

資料1

令和3年度 村上市立図書館の活動評価

[基本評価]

① 利用状況

項目	31年度(R1)	2年度	3年度	協議会評価	備考	参考増減(%)
入館者数(人)	111,130	71,937	91,650	—	中央館のみ	27.4
個人貸出冊数(冊)	146,964	121,959	139,386	—		14.3
貸出人数(人)	47,310	30,515	33,898	—		11.1
予約件数(人)	9,796	10,344	13,174	—		27.4
新規登録者数(人)	697	493	499	—	[内訳] 中央441・朝日18 荒川34・神林3・山北3	1.2
登録者数(人)	15,761	16,275	16,796	—		3.2
インターネット端末利用数(件)	1,988	1,260	1,453	—	中央館のみ	15.3
開館日数(日)	271	256	290		中央館のみ	13.3
郷土資料受入点数(点)	171	168	148	—		-11.9
利用満足度(%) (全体的な満足度) (たいへん満足＋やや満足)	82.50	77.33	91.30	—	中央館のみ 回答者数:115人 うち たいへん満足 85人 やや満足 20人	18.1

※これまで上述の「①利用状況」についての評価を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館等の影響により例年との比較に偏りが生じることや、自己評価に馴染まない項目が大半を占めることから評価は、行わないことといたします。

②管理運営費(各年度の決算額)

(単位:千円)

項目	31年度(R1)	2年度	3年度	備考
中央図書館経費	15,289	16,678	17,397	
地区図書館・分室経費	1,308	1,050	1,049	
(うち資料費)	(1,230)	(1,000)	(1,000)	
図書館ネットワーク等経費	40,524	40,188	40,201	
(うち資料費)	(7,500)	(7,500)	(7,500)	

重点事項 1

学校図書館支援の強化を図る

○重点事項達成に係る事業 : 子ども読書活動推進事業

《事業概要》

学校図書館訪問を取組の柱に、それぞれの学校図書館の状況に合わせた支援を図る。

《事業実績》

① 小・中学校図書館担当者を対象に、学校図書館の実態把握や子ども読書活動推進について連携を図るため、『学校図書館運営相談会』を実施した。
さらに、学校訪問による読み聞かせやブックトークの実施、学校図書館司書が配置されている図書館への訪問を実施し、児童の関心を高めるためのイベントの実施や環境整備等についての相談に対する具体策を提案した。

《協議会における事業評価》

事業	評価	評価理由
①	A	子どもの読書活動推進を図るための学校訪問や相談会を実施し、児童生徒にとって魅力ある学校図書館の環境整備の支援や、興味深い資料の充実について連携して取り組んだ。

重点事項 2

課題解決に向けた資料の充実を図る

○重点事項達成に係る事業 : 図書館資料整備事業

《事業概要》

- ①幅広い分野の最新情報を提供できる資料収集に努める。
- ②地域資料、行政資料の収集整備に努める。
- ③「村上市子ども読書活動推進計画」に基づき、全館で児童書の充実を図る。

《事業実績》

- ①令和3年度において4,373冊（一般書2,792冊、児童書1,581冊）の図書を購入した。
（R2年度：4,414冊（一般書2,894冊、児童書1,520冊））
- ②地域資料、行政資料については、新潟県及び村上市岩船郡に関する資料148冊を受け入れた。
（R2年度：168冊（購入18冊、寄贈150冊）受け入れ。）
- ③令和3年度において、1,581冊の児童書を購入し、中央図書館1,243冊、朝日図書館93冊、荒川図書室111冊、神林図書室109冊、山北図書室25冊を配置した。
（R2年度：1,520冊（中央1,171冊、朝日82冊、荒川91冊、神林86冊、山北90冊））

《協議会における事業評価》

事業	評価	評価理由
①	A	計画的に予算を執行し、課題解決に役立つための資料をバランスよく選書し所蔵とした。 また、経年劣化資料の定期的な確認に努め、修復、除籍するなど書架整理を実施した。
②	A	出版情報を把握し、寄贈のほか出版された資料は、ほぼ所蔵した。
③	A	あらゆる年代の子どもたちが、自分の読みたい本を豊富な蔵書の中から自由に選ぶことができるよう、それぞれの年代に合った資料の充実を図った。

重点事項 3

様々な研修機会を確保し、職員のスキル向上を図る

○重点事項達成に係る事業 : 職員研修等

《事業概要》

様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

《事業実績》

① 令和3年度上半期は次の研修会に職員を派遣した。

【外部研修】

・関東地区公共図書館協議会研究発表大会(2人)	7月8日	[オンライン(ZOOM)開催]
・新潟県公共図書館中堅職員研修(講義)(3人)	9月29日	[オンライン(ZOOM)開催]
・国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座(2人)	11月1日	[オンライン(ZOOM)開催]
・全国図書館大会山梨大会(2人)	11月11日	[オンライン(ZOOM)開催]
・新潟県立図書館下半期訪問研修(11人)	11月12日	
・全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)(2人)	11月26日	[オンライン(ZOOM)開催]
・関東・甲信越静地区図書館地区別研修(2人)	11月30日	[オンライン(ZOOM)開催]
・新潟県公立図書館実務担当者会議(1人)	12月22日	
・新潟県公共図書館総合部門研究集会(3人)	2月24日	[オンライン(ZOOM)開催]
・新潟県図書館協会理事会	3月17日	[書面開催]

【職場内研修】

・読み聞かせ研修	随時
----------	----

《協議会における事業評価》

事業	評価	評価理由
①	A	職員の資質向上を目的とした各種研修へ積極的に参加することで、更なるスキルアップにつながった。